



藤野の観光スポット 4 やまなみ公園

駅方面から牧野に向かってやまなみ温泉の手前にある、やまなみ公園、アナベルという品種のあじさいや、おかめ桜というやや早咲きの桜が咲き乱れることで知られています。この公園、実は地元のボランティア団体「牧野元気創生会」が造成し、管理をしているものです。「元気創生会」の志村孝夫さん、名久井孝昭さんにこの公園に込める思いなどをお聞きしました。

<公園造成の経緯、ねらいをお聞かせください>

今から10年前、平成21年から3年かけて整備しました。整備前は木や篠竹がうっそうとする荒れ果てた山でした。両腕が回るほどの太い木をはじめ雑木を伐採、高さ4mにも成長した篠竹を刈り払い、草も処理して木を植えられる状態にしました。処理し、運び出した木、竹、草などは全部で2t車30台分くらいになりました。穴を掘って埋めた草木もありました。造成して4年目にアナベルを植え始めました。その3年後におかめ桜も植えました。

公園を作った何よりのねらいは温泉利用客に公園を楽しんでもらいたい、ということでした。花の観賞はもとより、散策も楽しんでいただければと考えました。

<アナベル、おかめ桜を選んだ理由は>

日本あじさい協会、当時の緑の協会などに相談しました。山の土壤、気候などを見ていただいて、アナベルとおかめ桜を推薦してもらいました。

<現在、どのような形で公園を管理していますか>

3月から11月にかけて毎月2回作業をやっています。下草刈りや剪定作業などです。当初は5、6人しか参加者がなく本当に大変でしたが、今ではいつも12、3人が集まってくれます。それから、これは公園を造成する時からのことなのですが、法政大学の学生がボランティアで作業に参加してくれています。彼らには危険を伴う作業はやらせることはできないので、処理した草木の片付け、刈り払い機が使えない箇所の草むしりなどの作業を手伝ってもらっています。参加する学生は年々変わっていきますが、団体としては10年も活動が続いていることはありがたいことです。



<どんな成果がありますか>

まずアナベルの量がずいぶん増えたことです。アナベルは挿し木で簡単に増やすことができます。3月に挿して、3ヶ月後の6月にはもう花が咲きます。最初は50本植えたのですが、今では1000本を超えるでしょう。近所の方にも苗木をお分けしていますが、あちこちの庭に咲き乱れるようになっています。多くの人に公園を楽しんでもらっているのもありがたいことです。温泉客には花の季節に大いに楽しんでいただいている。入浴ついでに散策される方も多いかもしれません。藤野南小の子どもたちが写生に来てくれることもうれしいことです。公園からの景色は陣馬山などを望み、絶景ですので、地元の方々の格好の散歩道にもなっています。また、作業には職を退いた比較的高齢の方々も参加して下さっていますが、彼らは作業そのもの、そして終わった後の入浴とお酒が楽しみと言っています。これも一つの成果なのかと思います。

<今後の予定などをお聞かせください>

近いところでは6月22日(土)、「あじさいホタル祭」を開催します。これは近所の方やボランティアの学生に集まってもらい、あじさいを愛で、バーベキューを楽しみ、夜にはホタルを鑑賞しようというイベントです。参加希望の方がいらっしゃれば歓迎します。

将来ですが、このやまなみ公園整備は八幡神社周辺のホタルの保護活動、峰山の登山路整備と一体になって行っているものですので、やまなみ温泉も含めてこの一帯に多くの人が訪れ、皆さんに楽しんでもらえたらと思います。

移住促進のためのマッチングを行っています！



観光協会では「相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会」の事務局として、移住に関するさまざまなマッチング業務を行っています。これは国交省の補助事業です。おかげさまで藤野地域に住みたい、藤野地域と今住んでいる家との二地域で暮らしたいといった相談を多数いただいている。そのご希望に対して提供できる家、土地がかなり不足しているのが現状です。

藤野への移住を考えている人がたくさんいます！

お手持ちの空き家、空き地を活用しませんか

当面お使いにならない家、土地を貸そうか、お使いする当面のない家、土地を売ってもいいかとお考えの方、ぜひ藤野観光協会にご連絡ください。各種ご相談に応じます。

TEL 042-684-9503(平日 8:30-17:00 受付)